

玩具製作と家庭教育

藤 五代 策

從來我邦の家庭教育法は、餘りに消極的に偏してゐたやうな感じがいたします。例へば親達が子供を誡める言葉にも、やれ風を引かぬやうにせよ、色々な物を食べ過ぎぬやうにせよ、危い處に行かぬやうにせよなど、何れも消極的なお諭で、子供等には勿論必要な注意ではあります。私の考へでは、此の消極的な訓誡と同時に、もつと積極的な教へ、例へば寒い時には火に當らずに運動をやれとか、道路に邪魔物があつたら取片付けておけとか、憐なものに遇つたら恤んでやれとか等、の自分の心から湧き出るやうな有益な事柄を授けてやらねばならぬことゝ思ひます。

此の積極的な教育法も、様々あることゝ思ひますが、私は彼の子供等が最愛玩する玩具を、子供に作らせることなどは、積極的教育法の第一位に數ふべきものだと思ひます。子供が玩具を好愛するのは、殆んど本能的と謂つても宜敷位です。之と同時に子

供が刃物を持つて、物を切つたり、削つたり、組み立てたりすることも、子供の通有性で、恐らく之を厭ふものは一人もあるまいと信んじます。斯くして好きな玩具を、好きな遊び事として製作する内に、そこに教育上偉大の眞價が現はれるのです。私は昨年の春『活動する玩具の作り方』と云ふ本をかきました、(之れは厚い紙に綺麗に彩色をした玩具が四五十種類もかいてあります、之を缺で切りて、折つたり、貼り合はせたりすれば、直様玩具になるやうに工夫してあります)この本を某良家の子供へ贈りました。折節その子供は、腹痛とかで休んでゐたさうですが、此の本を見ると、忽ち起き上がりて、母に向つて缺や糊を所望して、其の中の面白かりさうなものを作り始めたのです。母は傍にありて、病氣のため宜敷くないから、と申して、制止したけれども、中々聽入れない、夢中になつて四つ五つを作り上げました。作つたものは一寸玩弄しては、直ぐ次のものを作る

と云ふ具合で、之を玩弄すると云ふよりは、製作する方に多大の興味を有つてゐたさうです、斯くする内病氣のことはすつかり打ち忘れて、何時の間にやら、癒へたと云ふことであります、之れは唯一例であります、此の外之に類した事柄は幾つも耳にしたのであります。

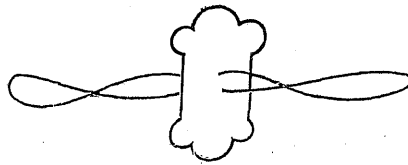
従來世間では子供が泣き出すと、直様お菓子をやつて機嫌を直すのが唯一の方法のやうでした、子供の方でも、泣きさへすればお菓子が貰へるものだと考へて、泣くのは子供の武器でありました、お菓子と云ふものは與へ方によりては、非常に弊害のあるものです、私は爾後お菓子に代へるに、玩具製作法に代へましたら、どんなに、子女教育上に裨益するであらうかと思つてゐるのです。

玩具製作と謂つても、多くの費用や、立派な技術が要るものではありません、工具としては、鋏と小刀と錐位で澤山であります、又材料としては、古端書、反物包紙、筆の軸、絲卷心、半紙、色鉛筆、糊などの廢物があれば、随分面白い玩具が澤山作れます、左に三四の例を示しませう。

一、絲卷心ぶんぐ

第一圖の如く絲卷心の真中に二つの孔を穿ち、之に太絲を通して、輪に作り、左右の拇指にかけて、引いたり緩めたりして遊ぶのです。

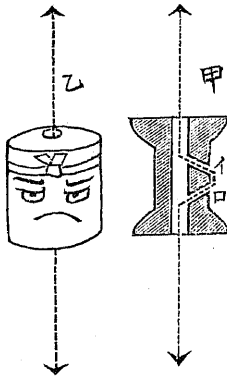
第一圖



二、不思議な人形

第二圖甲は鼓形絲卷心の(イ) (ロ)に錐の孔を穿ち、之れに太絲を通し、上と下とを持ち、少し緩むれば、人形は下に落ちます、適當の處で絲を強く引けば、そこで止ります、乙は甲の鼓形の周りに紙を貼り、人形の顔をかいたものです。

第二圖



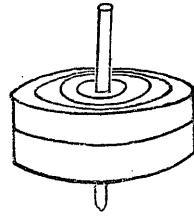
三、高い低いボール函の空殻をとりて、

真中に錐孔を通して、之れに長三寸位の丸箸を貫きて獨樂に作ります

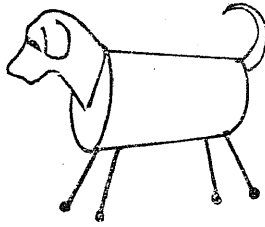
獨樂の上面には渦線を描けば一層面白いです。
四、コルクの犬

葡萄酒の栓をとり、其の前後にボール紙で作つた犬の頭と尾とを取付け、四本の燐寸棒を脚に作ります

第三圖



第四圖



以上のやうな玩具ならば、費用も技術も要つたものではありません、而かも出来たものは、非常に面白くて、彼の買つた玩具よりも、教育上數等の價値を有するものです（玩具製作上の教育價値に就ては、他日稿を更めて詳論することにいたしません。）

私は本年一月から、各種の少年少女雜誌社から

懇望されて、理化的玩具の製作法を執筆して居りますが、全國の少年諸君からは、毎月澤山な質問や禮狀が参ります、左の一篇は少年俱樂部の愛讀者廣島市の尾谷誠治君からの禮狀です。

『僕は藤先生のお考へになつた活動寫眞を作つて見ました、此の活動寫眞は有益にして、且又愉快でありました、六月號には藤先生の考へられた、樂器の作り方をお書きになるそうですが、それを作り、又吹き遊んだならば、何んぞ楽しい事だせう、藤先生に厚くお禮申上げます』此の一篇でも多くの少年の意向が察せられるのです、從來多くの雜誌上には、小説や文藝的の事のみが満載されて、理工科に關する事が少いのです、偶々理工方面の事が書いてあつても、之を製作し、研究せよう云ふ考へは無かつたのです、近時凡ての子供達が文學的のものよりも、理工的のものを歓迎する傾向を帯びて來たのは、我邦家のため非常に喜ばしい現象であります、私は向後母姊の方々にお頼みいたしたいのは、子供に與へる玩具は成るべく買はないで、子供と一緒に製作するやうにお勧めいたしたいのです。

戶外保育の好季節！

綠蔭幼稚園のシーズン！